



災害が起きる前に用意しておこう！

自分に合った情報収集の方法を決める

災害情報の収集はスマートフォン、テレビ、防災行政無線などからできます。自分に合っ

た情報収集の方法を見つけ、災害時にすぐに情報が見られるようにしておきましょう。

防災行政無線

市が整備する、住民への防災情報伝達を行う無線通信システム。市ホームページから放送した内容を閲覧することも可能。



特徴

- ・登録制ではないので、誰でも聞くことができる
- ・地域や住宅の構造や雨の強さなどによっては聞こえづらい
- ・放送のため、多くの情報を得ることができない

防災メール・まもるくん(福岡県)

緊急情報、気象警報といった防災情報が携帯電話やパソコンのメールで受信できる。



登録は右記QRコードから



特徴

- ・文字で確認できるため、正確な情報入手が可能
- ・放送と比較し、より詳細な情報入手が可能
- ・文字として残るため、後で確認することができる
- ・遠方に住む家族にも登録してもらうことが可能
- ・事前にメールアドレスを登録する必要がある

dボタン

テレビのリモコンの「dボタン」を押すだけで、気象情報や河川水位、避難情報を簡単に確認できるサービス。



特徴

- ・テレビで見られるため、簡単に情報が入手できる
- ・設定の必要がなく、簡単な操作で閲覧可能
- ・テレビがないと見ることができない

ホームページ(糸島市・福岡県)

糸島市、福岡県が運営する。



糸島市ホームページ 福岡県防災ホームページ



特徴

- ・インターネット上で、糸島市や福岡県の詳細な情報が閲覧可能
- ・福岡県防災ホームページの「福岡県総合防災情報」から河川の状況を画像で見ることが可能
- ・スマートフォンやパソコンを持っていないと利用できない

糸島防災ポータル

防災ハンドブック、災害ハザードマップなどの防災情報をまとめたスマートフォン用防災情報サイト。



特徴

- ・災害時に使用したいホームページが簡単に見つかる
- ・事前登録などしなくても閲覧可能
- ・スマートフォンを持っていないと利用できない

防災アプリ

さまざまな防災情報を確認できる、民間事業者などが提供しているスマートフォンアプリ。



特徴

- ・より多くの情報が即座に入手できる
- ・自分に必要な情報を必要な時に見ることができる
- ・スマートフォンを持っていないと利用できない